

感染看護学	1年・後期	1単位 15時間	講師 千木良悦子
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33310701

1. 授業のねらい・概要

学生が、自分および対象者を感染症から守るために基本となる感染予防対策に必要な知識を身につけることを目的とする。

2. 学修の到達目標

1. 世界的に流行した感染症について説明できる。(D-2)
2. 感染症に伴う倫理的課題について説明できる。(D-2)
3. 感染のメカニズムについて説明できる。(D-2)
4. 標準予防策について説明できる。(D-2)
5. 感染予防のための基本的技術が説明できる (D-2)
6. 職業感染防止への対応が説明できる。(D-2)
7. 薬剤耐性菌をめぐる課題が説明できる。(D-2)
8. 感染症に罹患した患者や家族の気持ちを理解し、患者に寄り添う心を養う。(D-1)

3. 授業の進め方

テキストに基づきパワーポイント資料を用いた講義を中心に授業を進める。

【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして、事前学習型授業、小テスト・レポートを行う。

【ICT活用の有無】

Google Classroom 等による学習課題の提示・配信, Gmail での質問の随時受け付けを行う。

4. 授業計画（講義）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	感染予防のための基礎知識	講義	予習：テキスト「感染看護学」の P12～14 を読みペスト菌の感染経路を確認しておく。 復習：授業資料を精読	千木良悦子
2	標準予防策	講義	予習：テキスト「感染看護学」の P84～87 を読み、標準予防策とは何かをまとめる。 復習：授業資料を精読	千木良
3	感染経路別予防策・職業感染防止	講義	予習：テキスト「感染看護学」の P87～88 を読み、感染経路別予防策の3つを確認しておく。 復習：授業資料を精読	千木良
4	洗浄・消毒・滅菌 廃棄物適正処理 医療関連感染の予防	講義	予習：テキスト「感染看護学」の P81～84 を読み、消毒の効果を得るための条件をまとめる。 復習：授業資料を精読	千木良
5	現代社会における感染症をめぐる問題	講義	予習：テキスト「成人看護学 [11] アレルギー 膠原病 感染症」の P348～	千木良

	新興感染症・再興感染症 薬剤耐性菌をめぐる課題		352 を読み、薬剤耐性菌の代表的な感染症を確認しておく。 復習：授業資料を精読	
6	感染症と法制度 医療機関における感染管理	講義	予習：テキスト「感染看護学」の P92～96 を読み、感染予防策を実践する医療チームを確認しておく。 復習：授業資料を精読	千木良
7	感染看護の実際	講義	予習：テキスト「感染看護学」の P194～195 を読み、高齢者介護施設における感染予防上の課題をまとめる。 復習：授業資料を精読	千木良
8	感染症における訴訟 まとめ 定期試験	講義	予習：1～7 回の授業資料を精読 復習：授業資料を見直し、試験内容を確認する。	千木良

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）70%，小テスト・レポート（30%）で評価する。
合格基準（60%）に満たない場合には、単位認定できない。

評価対象物は、「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を、ループリック評価を使用し、講義内で別途説明する。

定期試験の出題範囲および出題方法等は、事前に口頭で提示する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：1) 操華子他（2022）看護学テキスト 感染看護学 最新版 南江堂

2) 泉川公一（2025）系統基礎看護学 成人看護学 [11] アレルギー 膠原病 感染症
医学書院

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

事前学習として、授業計画に該当する部分を最低1時間程度の予習および最低1時間程度の授業内容の復習をすること。

8. 受講上の留意事項

シラバス該当範囲の知識に関して十分に準備して臨むこと。

遅刻、欠席ならびに授業中の私語、授業に関係ない言動（スマートフォンの使用等）は慎むこと。

講義時間開始後の無断での教室の入室および退出は慎むこと。

授業中の実例に関する内容は口外しないこと。

看護体験実習の先修科目である。

9. 課題に対するフィードバックの方法

小テスト・定期試験の解答は試験後に口頭、Google ClassroomまたはGmailでフィードバックする。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される

該当する本授業は、医療機関における看護師および感染管理認定看護師としての実務経験を活かして

講義を行う。